



大圧協新聞

大阪生コンクリート圧送協同組合

〒552-0007

大阪市港区弁天1-6-8 オレンジビル2F

(TEL) 06-6599-5530 (FAX) 06-6599-5537

(Email) pump@daiatsukyou.com

(URL) http://www.daiatsukyou.com/

9月21日

第3回圧送技術研究会

・生コンクリートの性能とポンプ圧送性の評価手法について・

第3回圧送技術研究会

・生コンクリートの性能とポンプ圧送性の評価手法について・

日 時	平成18年9月21日(木) 13:00~17:00
場 所	大阪国際交流センター 2階さくら東・西
共 催	社団法人 日本建築学会近畿支部材料施工部会 大阪生コンクリート圧送協同組合
後 援	社団法人 大阪建設業協会 全国生コンクリート工業組合連合会近畿地区本部 財団法人 日本建築総合試験所 コンクリート用化学薬品協会 社団法人 全国コンクリート圧送事業団体連合会(全圧連) 社団法人 日本建設機械工業会
基調講演 I	「ポンプ圧送JIS安全規格」の解説 小林 久見 (社団法人 日本建設機械化協会)
研究報告	「圧送距離300mポンプ圧送性実験及び高強度コンクリートの 実施工における生コンクリートの性状と圧送性について」 報告1. ポンプ圧送性の評価について 木村 芳幹 (財団法人日本建築総合試験所) 報告2. 第2回 Field実験報告 山崎 順二 (株式会社浅沼組) 報告3. 高所圧送実験報告 ・高強度コンクリートの性状とポンプ圧送性について・ 岩清水 隆 (株式会社竹中工務店) 報告4. 圧力波形の測定結果について 大村 信二郎 (極東開発工業株式会社) ＜研究報告に関する質疑応答(15分程度)＞
ソフト開発	「ポンプ圧送性評価ソフト」の開発とプレゼンテーション 高見 錦一 (株式会社浅沼組) 川崎 裕司 (日本マイコン神戸株式会社)
総括・閉会挨拶	二村 誠二 (社団法人 日本建築学会近畿支部材料施工部会 主査)

＜進化する圧送研究＞

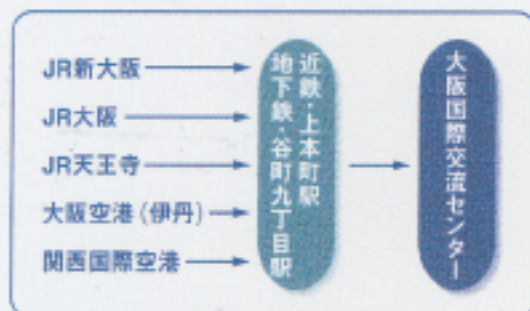
早いもので、圧送技術研究会も3回目を迎える。第1回目は、04年7月10日、大圧協を主催者として、日本建築学会近畿支部材料施工部会と日本建設機械工業会(建機工)及び全国コンクリート圧送事業団体連合会(全圧連)の後援で、256名の参加者を得た。ポンプ工法に関する関係者との技術の共有、互いのスキルアップをはかる目的で

、「コンクリート圧送技術の現状と課題」を全圧連(圧送業)・建機工(ポンプメーカー)・ゼネコン・生コン工組・混和剤メーカーの立場から提言頂いた。この研究会を契機に、材料施工部会にポンプ工法ワーキング・グループが組織された。第2回目は、05年7月23日、今回と同じ主催・後援の枠組みで運営された。多くの大阪府下自治体担当職員も含め、310名の関係者の参加を得た。島根

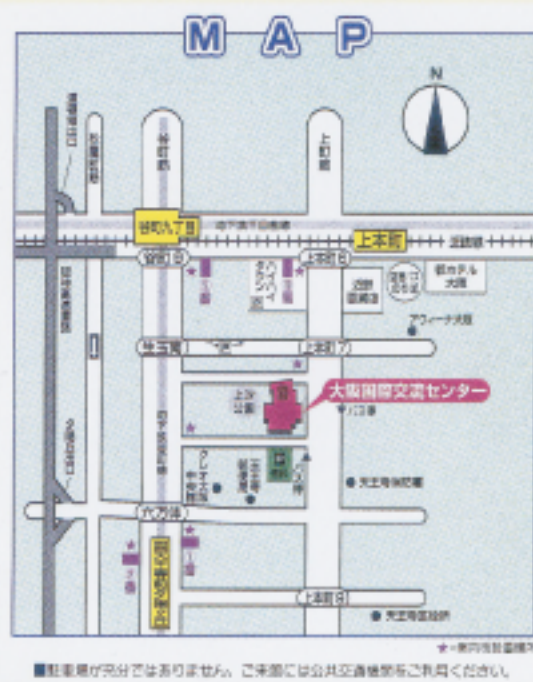
大学の和美廣喜教授の基調講演に始まって、メインの研究報告として、ワーキング・グループによる実大規模の圧送実験と建設現場での高強度生コン打ち込み時の圧送計測結果を基に、K値(水平管1mあたりの管内圧力損失)の見直し・推定手法の提案を行った。今回は、ポンプのJIS安全規格がこの4月に制定されたので、解説する。研究報告は、2回目のフィールド実験と建設現場での高

強度生コン圧送計測の報告の選定もできる。圧送及び昨年に提案されたK値推定式が検証される。また、ポンプ圧送性の評価ソフトが開発され、その説明もさD化されており、参加者全員に配布される。尚、研究会終了後、交流を目的とした懇親会を開催する。

- バス：「上本町」駅から南へ徒歩5分
- 地下鉄：「谷町九丁目」駅(谷町線・千日前線)から南東方向へ徒歩10分
①南東方面出口
②南東方面出口
③南東方面出口
- バス：「上本町」駅から南へ徒歩10分
①大阪空港からリムジンバスで「近鉄上本町」(所要時間35分)
②関西空港からリムジンバスで「近鉄上本町」(所要時間55分)



大阪国際交流センター
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8丁目2番6号
TEL.(06)6772-6729(直) FAX.(06)6772-7600
TEL.(06)6772-5931(代)
詳しい案内はホームページをご覧ください。
<http://www.ih-osaka.or.jp/>



■駐車場が完分ではありません。この場には公共交通機関をご利用ください。